

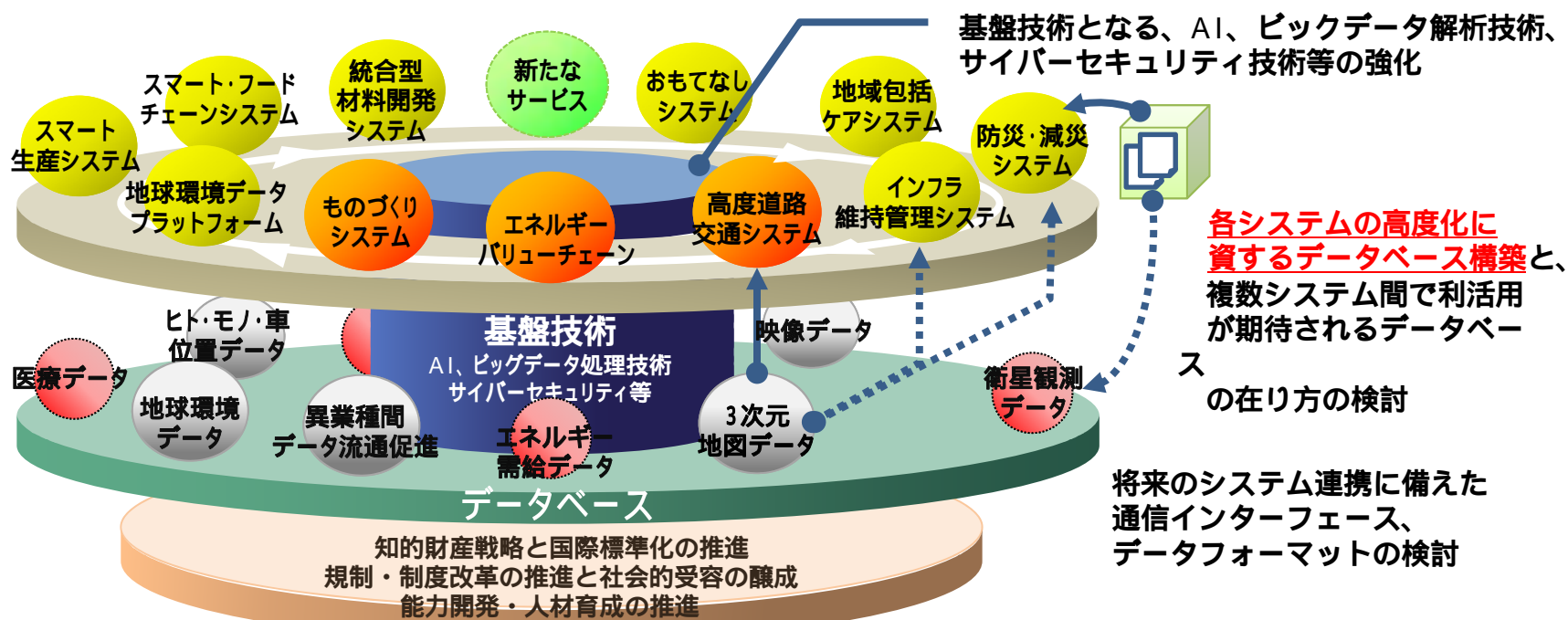
# データ活用を推進すべき分野の検討にむけて

第8回システム基盤技術検討会  
(H28.12.27)  
資料3を基に構成

各システムの高度化に資するデータベースを着実に整備することが、将来のデータ連携を図る上で重要。

データベースの着実な整備を推進しつつ、将来のシステム連携を見据えた通信インターフェースやデータフォーマットも事前に検討していくべき。

## 「Society 5.0」プラットフォーム構築のイメージ

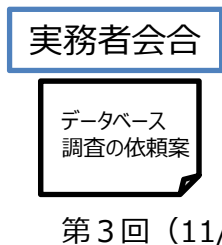


# データベース構築状況のヒアリングについて

第8回システム基盤技術検討会  
(H28.12.27)  
資料3を基に構成

システムの高度化に向けたデータベース構築状況を各戦略協議会・WGにヒアリングして、さらにシステム基盤技術検討会で議論した上で「Society 5.0」を実現するプラットフォームとして重要なデータや共有すべきデータについて、関連機関、推進リーダーを設定して構築体制を明確にする。

## <手順フロー>

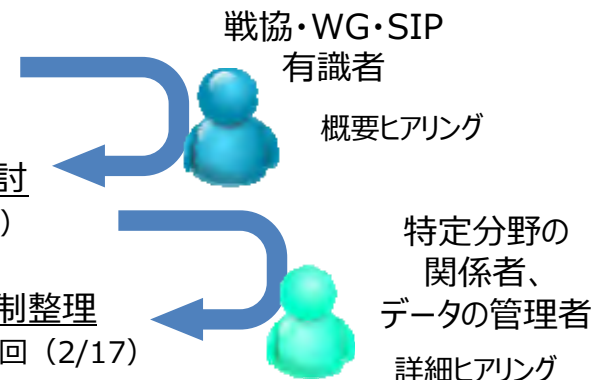


## システム基盤技術検討会

依頼内容の確認、承認  
第7回 (12/1)

データ活用を推進すべき分野の検討  
第8回 (12/27)

推進すべき分野の推進体制整理  
第9回 (2/17)



## <推進体制の整理のイメージ>

推進分野	関連施策 (SIP含む)	関連機関	推進リーダー	スケジュール
インフラを中心としたデータ	SIP「…」	…省、…団体、 …機構、(企業)、等	(産業界または 学術界の有識者)	
防災を中心としたデータ				
地図を中心としたデータ				

# データベース構築概要ヒアリングの全体俯瞰

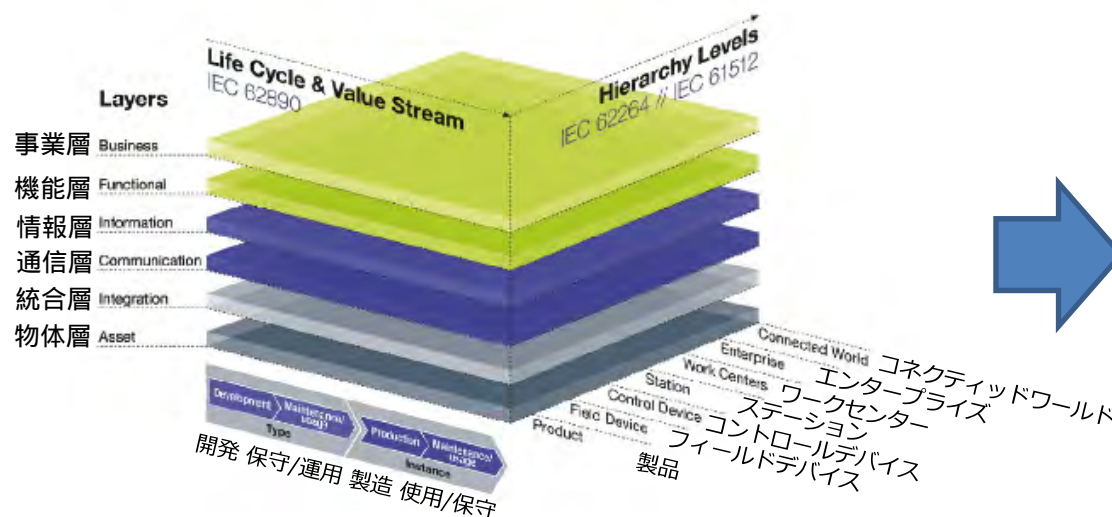
第8回システム基盤技術検討会  
(H28.12.27)  
資料3を基に構成



# リファレンスモデルの検討

第8回システム基盤技術検討会  
(H28.12.27)  
資料4を基に構成

- 昨年度の検討で、システムを連携することで新たな価値創造が見込まれるユースケースを5つ特定した。
- Society 5.0を普及させるためには、ユースケース考案～実用化までの期間を最短化し、コストを最小化した上で安全に構築する必要がある。
- Industrie 4.0のRAMI4.0は一つの産業分野のなかで連携を主眼に置いているが、Society 5.0は異なる産業分野のシステムの連携協調により新たな価値を創造する未来の経済社会であることから、RAMI4.0を参考にしつつも、Society 5.0リファレンスモデルを改めて構築すべき。



一つの産業分野に閉じずに、新たな価値を創造するために、既存システムも含めたシステム間の連携協調を早く安く安全に実現するための指針となるリファレンスモデル。

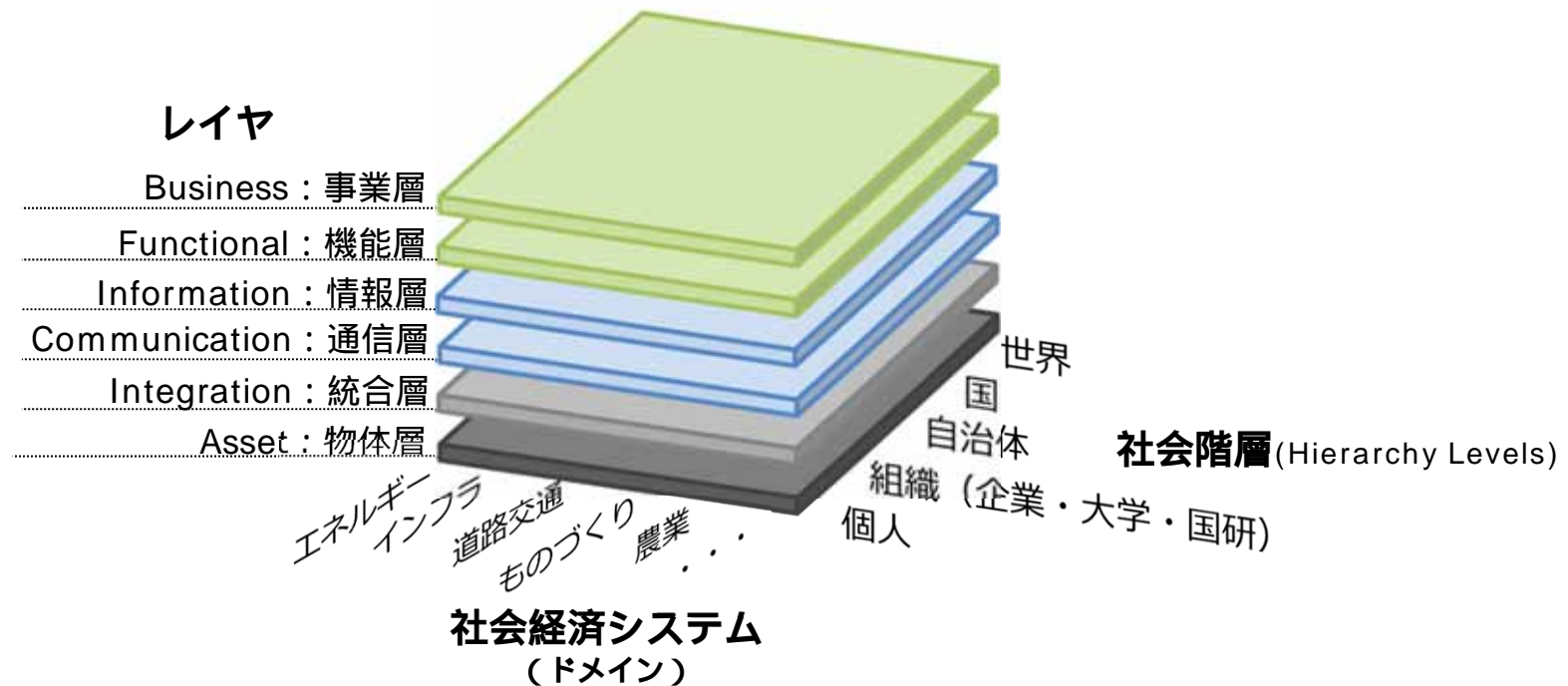
## リファレンス・アーキテクチャ例 (Industrie 4.0)

出典 ; Umsetzungsstrategie Industrie 4.0(<https://www.bitkom.org/Bitkom/Publikationen/Umsetzungsstrategie-Industrie-40.html>)

# 11システムの共通事項の抽出に向けて

第8回システム基盤技術検討会  
(H28.12.27)  
資料4を基に構成

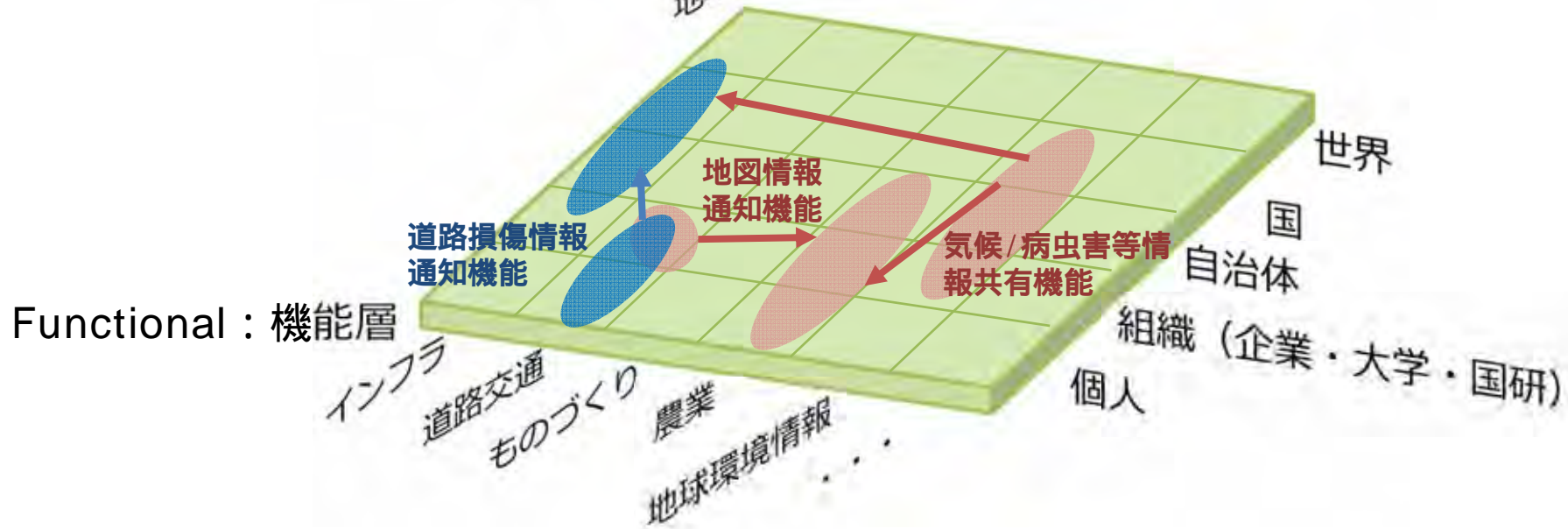
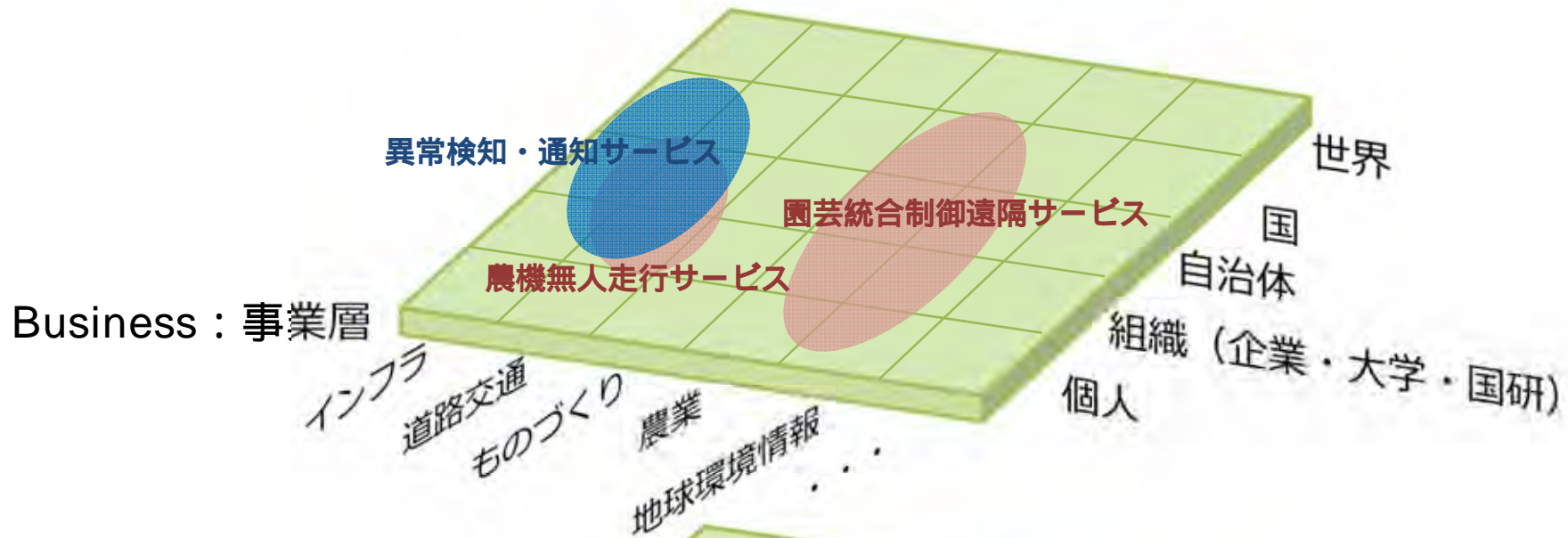
- RAMI4.0とのインタオペラビリティの観点から、レイヤについては踏襲する。
- Life Cycle & Value Stream軸については、Society 5.0の11システムのシステム間連携協調の視座で社会経済システム軸（ドメイン）としてはどうか。
- Hierarchy Levels軸については、Industrie 4.0が製造業の階層であるのに対して、Society 5.0はより広範囲であることから、影響を及ぼす範囲の視座で社会階層軸としてはどうか。



インダストリー4.0 実現戦略 プラットフォーム・インダストリー4.0 調査報告 (日本貿易振興機構) の表記に基づく  
[https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Reports/01/c982b4b54247ac1b/20150076.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/c982b4b54247ac1b/20150076.pdf)

# (参考) 事業層/機能層の例

第8回システム基盤技術検討会  
(H28.12.27)  
資料4を基に構成



# (参考) AI等の基盤技術強化の方策について

CSTI本会議 (H28.9.15)  
 「人工知能等の研究開発の効果的な推進」  
 資料より

## 2. 産業競争力の強化を目指したオールジャパンでの体制構築

～CSTIがリーダーシップを発揮して主導～

